福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	夜久野町生涯学習センター事業					事業コード	100501630234		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり			
	施 策 名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422		
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課			所属長	西村 憲二			
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料 207 頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市夜久野町生涯学習センター条例、夜久野町生涯学習センター条例施行規則								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 市民の生涯学習の拠点として、創造活動、文化活動の向上発展を図るため、施設の機能を十分に活用して市民サービスの向上を図る。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 施設の維持管理を適正に行うため計画的に改修・修繕を行い利用者の利便性を図る。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 夜久野ふれあいプラザのうち、生涯学習センター機能の部分について、安心安全かつ快適な利用環境を維持できるように管理運営を行い、生涯を通じた学びの場づくりの提供を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・施設の機能を十分に活用して市民サービスの向上を図る。 ・事務室、ホール、研修室等の施設、機器管理・維持 ・夜間等施設使用時の管理、施設周辺管理整備

対象者	夜久野町生涯学習センター利用者	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	あしだ土木				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	4,241	消耗品費、光熱水費、燃料費、印刷製本費、修繕料（木製イス修繕）			
役務費	404	保険料（建物総合損害共済基金分担金）、通信運搬費（電信・電話料等）、手数料（ピアノ調律料等）			
委託料	198	夜久野ふれあいプラザ（夜久野支所）駐車場周辺ほか除雪業務			
備品購入費	88	掃除機、ワイヤレスマイク			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	11,565	5,168	5,054	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		11,565	5,168	5,054	
予算財源内訳	① 一般財源	11,073	4,676	4,511	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	492	492	543	
決算情報	① 流充用額	△ 30	△ 220		
	② 配当予算	11,535	4,948		
	③ 執行額	11,127	4,931		
	④ 執行率	96.5%	99.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.43 / 2.00	0.25 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	9,040	2,000		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		20,167	6,931		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
夜久野町生涯学習センター使用料	教育使用料	558	10	10
電柱占用料（生涯学習センター）	教育使用料	6	10	10
携帯電話アンテナ占用料（生涯学習センター）	教育使用料	3	10	10
自動販売機設置貸付収入（夜久野生涯学習センター）	財産貸付収入	35	31	31
自動販売機等電気代等（夜久野町生涯学習センター）	雑入	90	42	42
夜久野町生涯学習センター一部使用電気代	雑入	34	42	42

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	13,423	14,241	14,388	11,141		
	施設利用者数	当初見込		16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	施設の適切な維持管理及び貸館								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・最新の設備を備えたプラザは市民の研修の場として広く活用されている。特に文化ホールは高い利便性と適切な規模（299席）で好評である。 ・市民の文化的活動の推進、集会施設として適正な利用が図れるよう、維持管理・保守管理に努めている。
現状の課題に対する改善策	・美観・木質を大切にした建物であるが、築年数が経過し、設備等に次々と不具合が生じており、交換修繕などで今後の維持管理経費の増加が懸念される。状況確認を行い、計画的及び優先順位を見極めつつ修繕・改修工事を立案実施する。 ・令和7年度は夜久野支所に一部事務を委任し、施設管理を行った。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	夜久野町生涯学習センター改修事業					事業コード	100501630264		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり			
	施 策 名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり				施策コード	422		
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課			所属長	西村 憲二			
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料 208 頁
計画期間	開始年度	令和8年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市夜久野町生涯学習センター条例、夜久野町生涯学習センター条例施行規則								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場として、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市民の文化的活動の推進、集会施設として適正な利用が図れるよう、維持管理・保守管理
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 生涯学習の拠点施設として、市民の創作活動・文化活動の向上発展を推進する場となるよう、安心・安全な施設運営を進めるため、施設の整備を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・令和3年度繰越事業：夜久野町生涯学習センター天井照明LED化ほか改修工事、夜久野町生涯学習センター空調設備改修工事 ・令和4年度事業：夜久野町生涯学習センターWi－Fi通信ネットワーク整備業務 ・令和7年度事業：夜久野支所受水槽ポンプ庫仮設発電機設置工事

対象者	夜久野町生涯学習センター利用者	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	株式会社Hori Tech					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
工事請負費	4,842	夜久野支所受水槽ポンプ庫仮設発電機設置工事			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	0	3,300	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	0	3,300	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	3,300	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	1,542		
	② 配当予算	0	4,842		
	③ 執行額	0	4,842		
	④ 執行率		100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.00 / 0.00	0.14 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	0	1,120		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		0	5,962		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	夜久野町生涯学習センター改修事業（過疎対策）	教育債	3,500	53	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	3	－	－	1		
	改修事業完了	目標値		3	－	－	1	－	
		達成度	%	100%	－	－	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	2	－	－	1		
	改修工事実績	当初見込		2	－	－	1	－	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	改修・更新工事の計画的な実行								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 当施設は生涯学習や文化活動の拠点として市民に親しまれている。維持管理には努めているが、経年劣化による設備不具合が顕在化している。 災害時の避難所機能も有していることから、安心・安全な利用環境を長期的に確保できるよう、計画的な修繕体制を確立することが課題である。
現状の課題に対する改善策	・美観・木質を大切にした建物であるが、築年数が経過し、設備等に次々と不具合が生じている中で、今後は、包括管理業務等で定期的に点検し、不具合の早期発見と状況把握に努める。また、修繕については、優先順位を精査し、計画的かつ効率的な改修工事を立案・実施する。 ・令和5年度、令和6年度は、改修工事の実績はなし。 ・令和7年度は、避難所としての機能を強化（停電により給水停止を防止）するため、夜久野支所受水槽ポンプ庫仮設発電機設置工事を行った。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	市民交流プラザふくちやま別館管理運営事業						事業コード	100502202501		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施 策 名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり					施策コード	422		
事業担当	所属	600400 教育委員会中央公民館			所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	02公民館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	209・210 頁
計画期間	開始年度	令和7年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	市民交流プラザふくちやま条例　市民交流プラザふくやま条例施行規則									
事業区分	☐ 法定受託事務　☐ 国府補助事業　☑ 市単独事業　☐ 内部庶務的事業　☐ その他　（　）									
関連事業	市民交流プラザふくやま館管理運営事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 京都府立中丹勤労者福祉会館が令和7年3月31日をもって廃止されることに伴い、会館の利用者の利便性が低下することから、利用者が近隣類似施設に移行されるまでの激変緩和措置として、令和8年度末までの2年間の限定で京都府から会館を借り受けて運営する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 2年間限定の暫定運営下で、施設機能を維持しつつ避難所としての安全性を確保する必要がある。 また、期間満了を見据え、利用者が円滑に周辺施設へ移行できるよう継続的な周知・案内を行う必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民文化及び教養の向上並びに社会福祉の増進を図り、広く市民の地域活動を支援するため、会館を「市民交流プラザふくちやま別館」に位置付けて維持管理するとともに、引き続き、本市の広域避難所に指定し、災害時の市民の生命の安全を確保する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・市民交流プラザふくちやま別館の施設にかかる各設備保守点検業務、清掃業務、警備業務、その他の施設維持管理業務

対象者	市民及び在住・在勤者を中心とした市内外住民不特定多数	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☑ 直接実施　☑ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他　（　）				
委託先・実施主体等	オリックス・ファシリティーズ株式会社、セコム株式会社、姫路ナブコ株式会社、三精テクノロジーズ株式会社、荒河電気設備管理事務所、公益社団法人福知山市シルバー人材センター、株式会社西日本エスエスシー、株式会社伊藤・梅原建築設計事務所				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	9,344	消耗品費、光熱水費、印刷製本費、修繕料（冷却塔緊急修繕、トイレフラッシュバルブ修繕等）			
役務費	665	保険料（建物総合損害共済基金分担金）、通信運搬費（電信・電話料等）、手数料（空調設備冷暖切替作業手数料、ごみ廃棄手数料等）			
委託料	6,804	自家用電気工作物保安管理業務、機械警備業務、管理運営業務、建築設備定期点検等業務等			
使用料及び賃借料	3,806	土地・建物借上料、その他機器等借上料 （AEDオンラインパッケージサービス等）			
備品購入費	119	シュレッダー、業務用メンテナンスカート、大型冷風機			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	0	0	19,574	0
	② 補正予算	0	27,820	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	0	27,820	19,574	
予算財源内訳	① 一般財源	0	24,220	16,974	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	3,600	2,600	
決算情報	① 流充用額	0	△ 4,571		
	② 配当予算	0	23,249		
	③ 執行額	0	20,739		
	④ 執行率		89.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.00 / 0.00	0.33 / 2.55	/	/
	② 概算人件費	0	9,780		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		0	30,519		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	市民交流プラザふくちやま別館使用料	総務使用料	2,390	7	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績		―	―	―	22,425		
	市民交流プラザふくやま別館利用者数	当初見込		―	―	―	25,000	20,000	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	施設の適切な維持管理及び貸館								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	会館を借り受け、暫定的な運営体制を迅速に構築したことで、地域活動の継続と避難所機能の維持を実現した。 一方で、2年間限定の事業であるため、利用者が円滑に周辺施設へ移行できるよう継続的な周知・案内を行う必要がある。
現状の課題に対する改善策	閉館時期が明確になった段階で、利用者が円滑に周辺施設へ移行できるよう、施設内掲示やホームページ等を通じて計画的にお知らせする。併せて、引き続き施設の適切な維持管理に努め、閉館まで安全・安心な運営を徹底する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	公民館一般管理事業						事業コード	100502630101		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施 策 名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり					施策コード	422		
事業担当	所属	600400 教育委員会中央公民館			所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	02公民館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	210 頁
計画期間	開始年度	昭和47年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	社会教育法　福知山市立公民館条例　福知山市立公民館条例施行規則									
事業区分	☐ 法定受託事務　☐ 国府補助事業　☑ 市単独事業　☐ 内部庶務的事業　☐ その他　（　）									
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 市民・住民の自主的な学び場であり、サークル活動など、市民・住民が生涯学習を実践する場として、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に維持管理を行う。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・若者から高齢者まで、すべての人が集い、多様な学習機会や世代を超えた交流の場の提供、時代背景に順応した文化、教養、人権学習などに関する各種事業を展開していく。 ・市民・住民が、中央公民館及び地域公民館を快適に利用できるよう、すみやかな利用受付を行い、また生涯学習情報を提供することにより、多くの市民の学習活動を推進していく。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・施設の維持管理運営事業 ・公民館の利用予約の受付、使用許可、使用料の徴収等 ・各種講座・教室等を案内する生涯学習情報誌を作成し、市内全世帯に配布することにより、市民の自主的な学びを推進する。 ・事業成果等は「公民館活動のまとめ」として作成し、社会教育関係者に配布し今後の事業推進に生かしていく。

対象者	中央公民館及び地域公民館等利用可能対象者	対象者数	74,009	単位あたりコスト	1.7
実施方法	☑ 直接実施　☑ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他　（　）				
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス株式会社、西岡電気設備管理事務所、個人				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	224	公民館運営審議会委員報酬	備品購入費	1,143	プリンター、キッズコーナーセット、折りたたみチェア台車ほか
報償費	45	旧三和会館活用事業外部有識者謝礼金	負担金補助及び交付金	30	公民館連絡協議会分担金
需用費	14,706	消耗品費、燃料費、光熱水費、印刷製本費、修繕料（建具修繕）			
役務費	2,790	保険料（建物総合損害共済基金分担金）、通信運搬費（郵送料、電信・電話料等）、手数料（ピアノ調律料、ごみ廃棄手数料等）			
委託料	1,534	機械警備業務、自家用電気工作物保安管理業務、定期清掃業務			
使用料及び賃借料	1,624	印刷機賃貸借料、テレビ受信料、土地・建物借上料等、AED機器賃貸借料			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,079	22,663	21,317	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,079	22,663	21,317	
予算財源内訳	① 一般財源	0	19,249	17,378	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,079	3,414	3,939	
決算情報	① 流充用額	109	257		
	② 配当予算	1,188	22,920		
	③ 執行額	1,181	22,096		
	④ 執行率	99.4%	96.4%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.23 / 3.00	0.64 / 34.95	/	/
	② 概算人件費	10,240	102,980		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		11,421	125,076		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
		川口地域公民館使用料		教育使用料		30		9	
		日新地域公民館使用料		教育使用料		306		9	
		北陵地域公民館使用料		教育使用料		46		9	
		六人部地域公民館使用料		教育使用料		465		9	
		成和地域公民館使用料		教育使用料		314		9	
		桃映地域公民館使用料ほか				3,023			

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	111,137	112,191	119,573	132,082		
	公民館利用者数（体育館・運動場利用者数含む）	当初見込		147,600	154,100	138,900	148,000	138,400	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	施設の適切な維持管理及び貸館								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	少子高齢化が進み地域コミュニティの希薄化が懸念される現代社会において、生涯学習環境の充実は重要である。市立公民館は、快適で安全かつ利便性の高い学習の場を提供し、市民の生涯学習活動を支えている。現状では一定の利用者数は維持しているが、今後、さらに多くの住民が公民館で学習活動を深めていくためには、施設の利便性向上や更なる魅力発信を通じ、潜在的な利用者層への働きかけを強化していく必要がある。
現状の課題に対する改善策	今後も公民館に多くの住民が集い、学び、人と人との絆を結ぶきっかけづくりとなるよう、講座案内パンフレットの作成や、公民館全体の情報発信を行い、多くの住民の学習活動を推進していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	大江町総合会館運営事業						事業コード	100502630116		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり					施策コード	422		
事業担当	所属	600400 教育委員会中央公民館			所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	02公民館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	210・211 頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	社会教育法　福知山市大江町過疎地域総合センター条例　福知山市大江町過疎地域総合センター条例施行規則									
事業区分	☐ 法定受託事務　☐ 国府補助事業　☑ 市単独事業　☐ 内部庶務的事業　☐ その他（　　）									
関連事業	中央公民館及び地域公民館事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 地域住民の自主的な学びの場であり、サークル活動など、地域住民が生涯学習を実践する場として、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 施設の老朽化により設備等に次々と不具合が生じているため、施設の維持管理を適正に行うため計画的に修繕を行い利用者の利便性を図る。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 大江町総合会館を適正に管理することにより、快適・安全な施設利用を進め、イベントホールもあることから、地域内外からの住民交流や生涯学習活動の場として利用されることを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・施設の維持管理運営事業 ・施設の利用予約受付、使用料納付書発行等、安心安全な利用を図るために施設全体の管理運営・施設修繕

対象者	大江地域住民を中心とする大江町総合会館利用可能対象者	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☑ 直接実施　☑ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他（　　）				
委託先・実施主体等	株式会社伊藤・梅原建築設計事務所				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	4,709	消耗品費、燃料費、光熱水費			
役務費	81	保険料（建物総合損害共済基金分担金）、手数料（ピアノ調律手数料）			
委託料	163	特定建築設備等の定期報告業務			
備品購入費	55	展示用パネル一式			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	8,068	5,797	5,347	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		8,068	5,797	5,347	
予算財源内訳	① 一般財源	7,038	5,067	4,617	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	300	0	0	
	⑤ その他特財	730	730	730	
決算情報	① 流充用額	148	509		
	② 配当予算	8,216	6,306		
	③ 執行額	8,130	5,008		
	④ 執行率	99.0%	79.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.13 / 2.05	0.08 / 2.00	/	/
	② 概算人件費	6,780	6,240		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		14,910	11,248		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	大江町総合会館使用料	教育使用料	890	10	
	自動販売機等電気代等（大江町総合会館）	雑入	20	42	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	20,040	16,483	12,612	20,684		
	総合会館利用人数	当初見込		25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	施設の適切な維持管理及び貸館								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 地域住民に広く利用され地域の拠点とするため、利用者の利便性を図ることにより利用者数を増やしていく。 また、大江支所と連携し、今後の施設運営・管理について、効率性・有効性を考えていく必要がある。
現状の課題に対する改善策	施設の維持管理を適正に行うため計画的に修繕を行い利用者の利便性を図る。また、大きなホールもあることから多くの市民が利用し、活用していただくための企画の充実や周知方法についても検討していく。 施設の運営・管理について、効率性・有効性を考え検討する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	市民交流プラザふくちやま管理運営事業						事業コード	100502630167		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり			
	施 策 名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり					施策コード	422		
事業担当	所属	600400 教育委員会中央公民館				所属長	西村 憲二			
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	02公民館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	211 頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	市民交流プラザふくちやま条例　市民交流プラザふくちやま条例施行規則　福知山市立公民館条例									
事業区分	☐ 法定受託事務　☐ 国府補助事業　☑ 市単独事業　☐ 内部庶務的事業　☐ その他　（　）									
関連事業	公民館一般管理事業　中央公民館及び地域公民館事業　市民交流プラザふくやま別館管理運営事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設の提供
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 利用者の利便性向上のため計画的な施設整備の改修等
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民交流プラザふくちやまの施設利用者の安全と利便性を確保し、適正で効率的な維持管理運営を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・市民交流プラザふくちやまの施設の維持管理運営

対象者	市民及び在住・在勤者を中心とした市内外住民不特定多数	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☑ 直接実施　☐ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他　（　）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	21,670	消耗品費、光熱水費、印刷製本費、修繕料（ パーキングカーゲート緊急修繕）			
役務費	673	保険料（建物総合損害共済基金分担金）、通信運搬費（郵送料）、手数料（ピアノ調律手数料、ごみ廃棄手数料等）			
備品購入費	132	プロジェクター、ワイヤレスカメラ			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	65,215	22,302	20,702	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		65,215	22,302	20,702	
予算財源内訳	① 一般財源	43,845	932	1,847	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	21,370	21,370	18,855	
決算情報	① 流充用額	△ 2,351	268		
	② 配当予算	62,864	22,570		
	③ 執行額	62,289	22,475		
	④ 執行率	99.1%	99.6%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.20 / 3.00	0.25 / 3.00	/	/
	② 概算人件費	10,000	10,400		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		72,289	32,875		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	市民交流プラザふくちやま駐車場使用料	総務使用料	5,640	7	
	市民交流プラザふくちやま使用料	総務使用料	6,264	7	
	電柱等設置占有料（公民館施設）	教育使用料	325	10	
	自動販売機設置貸付収入（地域公民館・市民交流プラザふくちやま）	財産貸付収入	1,266	31	
	市民交流プラザふくちやま共益費	雑入	3,566	47	
	市民交流プラザふくちやま広告収入ほか		273		

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	定性的評価	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	273,142	380,360	383,882	380,810		
	市民交流プラザふくちやま利用者数	当初見込		423,000	423,000	423,000	423,000	423,000	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	施設の適切な維持管理及び貸館								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況が変化する中で生涯学習環境の充実及び整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等を計画的に進め、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供してきた。 今後、利用者の利便性の向上を目指して、計画的に施設整備を行う。
現状の課題に対する改善策	計画的に施設整備の改修等を行い利用者の利便性の向上を図る。 令和5年度、令和6年度の2か年で市民交流プラザふくちやま館内照明のLED化を進めた。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	中央公民館及び地域公民館事業						事業コード	100502630263		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施 策 名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり					施策コード	422		
事業担当	所属	600400 教育委員会中央公民館			所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	02公民館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	212 頁
計画期間	開始年度	昭和47年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	社会教育法福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	公民館一般管理事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 地域住民の主体的な学習活動の促進を図るため、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」という公民館の目的に沿った多様な生涯学習講座等を実施する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 利用者ニーズを把握した魅力的な講座の実施
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 「つどう」「まなぶ」「むすぶ」という公民館の目的に添った生涯学習講座等を開催し、地域住民の主体的な学習活動を促進することにより、活動を通じた人と人、地域の絆を深め、地域社会への貢献やコミュニティづくりへの意識を高めていく。また、人づくり・地域づくりを担う人材の育成につなげていく。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・子どもから高齢者までが学ぶ多様な生涯学習講座、新たな公民館利用者につながる講座等を実施し、公民館利用者増加につなげていく。 ・講師は地域の人材をできうるかぎり発掘し活用する。 ・地域の特性を活かした講座内容（地元の歴史を学ぶ、地元の食材を使った調理教室等）、地域のニーズ、時代のニーズに応じた講座内容（スマホ講座、防災講座等）を工夫する。 ・学校や関係機関と連携し世代間交流、次世代の育成を目的とした講座を実施する。

対象者	中央公民館及び地域公民館等利用可能対象者	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.4	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	舞台照明CREW・SOLOOK、有限会社人形劇団クラルテ					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	2,292	講師謝礼			
需用費	387	消耗品費、印刷製本費			
役務費	81	通信運搬費（郵送料）			
委託料	478	市立公民館10館合同イベント人形劇公演業務、中央公民館文化祭照明・音響等業務			
使用料及び賃借料	19	三段池総合体育館使用料等			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	3,932	3,548	3,484	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		3,932	3,548	3,484	
予算財源内訳	① 一般財源	3,932	3,548	3,484	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	4	0		
	② 配当予算	3,936	3,548		
	③ 執行額	3,375	3,257		
	④ 執行率	85.7%	91.8%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.19 / 8.90	0.24 / 9.20	/	/
	② 概算人件費	26,440	27,680		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		29,815	30,937		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	78.4	95.1	95.6	98.4		
	講座参加者のうち、学習の成果を生かす場をイメージできた人の割合	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	78%	95%	96%	98%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	492	469	452	431		
	一般講座の実施回数	当初見込		400	520	520	520	520	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	生涯学習講座の実施								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	多様な生涯学習講座を開催し、きっかけ作りをし、参加を促すことで自己実現、仲間づくり、世代間交流等が図られるとともに地域の絆が育まれている。住民の学習意欲も高まっており、小学校区で組織されている地区公民館と連携し、住民交流や人材育成のために欠かせない場所となっている。 令和4年度は、「まちづくり構想　福知山」を具現化することを目的として、「まちづくり担い手育成講座」、「防災講座」等の講座を実施したほか、市立公民館10館合同では初となる子育て世代を対象としたイベントを企画・開催した。令和5年度、令和6年度についても市立公民館10館合同イベントを継続して開催した。 各講座参加者には、公民館共通した項目を設定したアンケートを継続し、利用者ニーズの把握に努めた。 社会情勢の変化に伴い、これまで以上に地域コミュニティづくりや地域課題解決に必要な学習を盛り込んだ生涯学習講座を実施していく必要がある。
現状の課題に対する改善策	公民館の主催する生涯学習講座を通して、高齢社会、安心安全、環境問題等、地域課題に対応した学習活動や情報提供を行い、地域住民の主体的な地域づくりや学習活動の促進に努める。 令和4年度から地域公民館を地域住民のニーズに添うよう、午前中から開館しており、今後も利用者の利便性の向上を図り、公民館の機能向上、市民の生涯学習環境の充実を図っていく。 一般講座参加者数の現状に応じて、令和5年度から成果実績及び活動実績の最終目標の数値を見直した。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	資料収集整理事業						事業コード	100503630301		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施策名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり					施策コード	422		
事業担当	所属	600500 教育委員会図書館			所属長	足立 亜弥				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	03図書館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	212・213 頁
計画期間	開始年度	昭和21年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画		R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、図書館電子書籍貸出サービス事業、図書館運営事業、図書館システム機器等更新事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 大正13年に、福知山町立福知山図書館として公立図書館を開設して以降、昭和53年に日新地域公民館に分館として日新図書館を開設し、平成18年には一市三町合併により、福知山市立図書館を中央館、旧三町の図書館をそれぞれ三和・夜久野・大江分館とし、中央館と4分館の編成となった。その後、日新分館を日新地域公民館に所管替えし、中央館と3分館となり、平成26年6月には、市民交流プラザふくちやまに移転し現在に至っている。本事業は、図書館の根幹となる資料の収集経費の執行に関する事業である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・資料購入数が年々減少する中、利用者からのリクエスト、時事・ニーズにあった適正な蔵書の維持管理のため一層の情報収集や工夫を要している。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 資料の収集は図書館の根幹であり、資料収集要領に則り、幅広い分野から計画的に図書を購入・所蔵し、利用者の学習意欲や知る権利を満たす。特に子どもの読書活動推進計画に沿って、絵本や児童書を充実させ、子どもたちがより読書に親しめる環境づくりを促進する。郷土資料など地域の情報を整理保存して「地域の情報ステーション」となるとともに、通勤・通学・商業の拠点として三たん地域の住民の需要に応える蔵書を確保し、図書館利用による集客を促進する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・中央館及び三和、夜久野、大江分館の地域に根ざした特色ある図書館づくりを進めるため、地域の情報、保存すべき資料、閲覧・貸出ニーズの高い資料を中心に、幅広い分野から計画的に図書を購入・所蔵する。

対象者	福知山市民（在住、在学、在勤）・三たん地域在住者	対象者数	642,398	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	（株）図書館流通センター、ナカバヤシ（株）大阪本社				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	2,948	雑誌購入費、新聞購読料			
委託料	985	書誌データ・ICタグ作成業務委託料			
使用料及び賃借料	383	新聞記事オンラインデータベース賃貸借			
備品購入費	8,278	図書購入			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	16,107	12,636	11,142	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		16,107	12,636	11,142	
予算財源内訳	① 一般財源	10,407	6,936	5,442	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	5,700	5,700	5,700	
決算情報	① 流充用額	83	92		
	② 配当予算	16,190	12,728		
	③ 執行額	16,190	12,593		
	④ 執行率	100.0%	98.9%		
人件概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.22 / 7.25	1.36 / 7.20	/	/
	② 概算人件費	30,060	31,040		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		46,250	43,633		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	佐藤八重子記念子ども読書活動振興事業基金繰入（佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金）	基金繰入金	3,523	37	
	弁償金（図書館）	弁償金	38	41	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	冊	329,013	336,847	342,547	346,772		
	蔵書数 目標値　中央館30万冊、三和2.1万冊、夜久野4.5万冊、大江1.4万冊 ※国の調査に合わせて雑誌、視聴覚資料は含んでいない	目標値		380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	
		達成度	%	87%	89%	90%	91%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	冊	7,614	7,110	6,158	4,290		
	図書購入点数	当初見込		7,294	7,009	7,052	4,588	4,500	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地域住民に必要な情報を提供できるための資料を収集する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	冊	499,451	486,186	459,669	427,523		
	年間資料貸出冊数	目標値		600,000	520,000	520,000	520,000	520,000	
		達成度	%	83%	93%	88%	82%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	冊	7,614	7,110	6,158	4,290		
	図書購入点数	当初見込		7,294	7,009	7,052	4,588	4,500	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地域住民が必要な情報を提供できるための資料を収集する。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 北部7市町において、最も市外からの利用者が多い図書館として一定の評価を得ている。 ニーズが多様化する中で、さまざまなジャンルの資料が必要になってきているが、購入できる資料が限られており、より一層の情報収集と工夫が必要である。
現状の課題に対する改善策	必要資料の選定に力を入れるとともに、近隣の市町との相互協力や資料購入に関する情報交換を行い、広域的な活用に取り組む。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業						事業コード	100503630308		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり			
	施 策 名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり					施策コード	422		
事業担当	所属	600500 教育委員会図書館				所属長	足立 亜弥			
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	03図書館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	213 頁
計画期間	開始年度	平成3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	資料収集整理事業、図書館システム機器等更新事業、図書館電子書籍貸出サービス事業、図書館運営事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 子どもの読書活動推進計画に基づいた読書活動の推進、啓発を行い、様々な利用者への読書サービスの充実を図り、すべての市民に読書の楽しみを届け、学習機会を提供し、読書環境を整備する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 利用者ニーズを把握し、きめ細かな読書支援サービスの充実を図る。図書館読書ボランティアの養成・確保・協力が不可欠であり、教育機関・関係機関と連携・協力し、各種共催行事や出張おはなし会等、館外活動における読書活動の推進・普及・啓発に努める。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 読書活動の普及・図書館活動への理解と利用促進につなげるため、講座・講演会・研修会等の事業を実施することで、すべての市民に読書の楽しみを届け、学習機会を提供する。具体的には、図書館読書ボランティアと連携しながら、出張おはなし会やワークショップ、大人向けの読み聞かせについての講演会や研修会などを開催する。また、教育機関・関係機関と連携・協力し、読書サービス支援、読書環境整備に努める。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・各世代向けのおはなし会・出張おはなし会、ワークショップ、ブックトーク等の実施。 ・ボランティア養成講座や講演会、研修会の実施 ・ブックスタート事業での絵本のプレゼントと健診時でのボランティアによる読みきかせ体験 ・対面読書サービス、バリアフリーサービスの充実 ・テーマ別ブックリストの配布、関係機関への読書サービス支援等

対象者	福知山市民（在住、在学、在勤）	対象者数	85,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	187	ブックスタートボランティア報償費			
需用費	672	ブックスタート絵本・絵本袋			
役務費	3	ボランティア保険			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,029	935	928	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,029	935	928	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,029	935	928	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	1,029	935		
	③ 執行額	891	863		
	④ 執行率	86.6%	92.3%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.68 / 4.81	0.54 / 2.88	/	/
	② 概算人件費	18,908	12,384		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		19,799	13,247		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	トートバッグ（図書館）	物品売払収入	317	32	
	佐藤八重子記念子ども読書活動振興事業基金繰入（佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金）	基金繰入金	546	37	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	－	2,237	2,363	2,186		
	集客型イベントの参加者数	目標値		－	2,500	2,500	2,500	2,500	
		達成度	%	－	89%	95%	87%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	－	109	110	128		
	集客型イベントの開催回数	当初見込		90	110	110	110	120	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	各世代別おはなし会／ボランティア養成講座／親子イベント／ボランティア・保護者向け：読みきかせ講演会等								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	－	2,152	2,117	1,913		
	ボランティア等連携による館外啓発普及活動参加者数	目標値		－	2,000	2,000	2,000	2,000	
		達成度	%	－	108%	106%	96%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	－	63	72	99		
	ボランティア等連携による館外啓発普及活動実施回数	当初見込		－	70	80	80	80	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	各世代別：出張おはなし会／4ヵ月検診受診者：ブックスタート事業／妊産婦教室：妊娠期保護者／研修会：放課後児童クラブ指導員・学校司書等／バリアフリーサービス：図書館の利用にサポートが必要な方								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	図書館読書ボランティアとの連携・協力により、館内外における読書普及啓発、さまざまな読書支援サービスを実施した。福知山市子どもの読書活動推進計画に基づき、年度ごとの実績報告により課題の洗い出しを行い、より利用しやすい方法にその都度改善を行い利用促進につなげた。今後においても、広報・周知を積極的に行い、更なる利用促進につなげていく必要がある。
現状の課題に対する改善策	教育関係機関に対して、利用しやすいように団体貸出制度の見直しを行った。 対象ごとに媒体を検討しながら、広報・周知・PRを行い、更なる利用促進につなげるとともに、新たにSNS等を活用し、スピード感のある情報発信を行う。 子どもの読書活動推進計画に基づく実績報告の課題を具体的にし、利用者のニーズを把握し、利用者に寄り添ったサービスの充実に努める。 図書館外での読書の普及啓発について、教育機関・関係機関と連携を図り、子どもが集う場や子どもとかかわる大人に向けての啓発を行っていく。 それぞれの利用者に寄り添った選書やおすすめ本の紹介などがスムーズに行えるよう、図書館職員のスキルアップに努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	図書館システム機器等更新事業						事業コード	100503630314		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施 策 名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり					施策コード	422		
事業担当	所属	600500 教育委員会図書館			所属長	足立 亜弥				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	03図書館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	213 頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	資料収集整理事業、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、図書館電子書籍貸出サービス事業、図書館運営事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 平成26年6月に、市民交流プラザふくちやまに移転して以来、各種端末、自動貸出機、自動化書庫やファイヤーウォールなどを含む図書館システム機器等を整備してきた。図書館システムは平成22年度よりNECネクサソリューションズが提供する「LiCS」を採用し維持管理を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市民の個人情報等、セキュリティの対応が強く求められる業務であり、情報収集や内部保守にかかる専門的作業、分析のため、職員のスキルアップや内部連携を図る必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民の生涯学習を支援するためには、豊富な資料や情報の収集に加え、適切な提供の場が必要である。市民がいつでも、どこでも求める資料と情報が得られるよう、図書館の業務全般に対応する図書館システムの整備・充実を図る。 セキュリティゲートや自動貸出機、図書館システム端末等の機器の定期的な更新を行うことで、図書館利用者に対する安定的なサービスの提供を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・図書館システムにおけるパソコンや周辺機器の更新を行い、適切な運用を行う。 ・自動化書庫を適切に維持管理し長寿命化を図る。

対象者	福知山市民（在住、在学、在勤）・三たん地域在住者	対象者数	642,398	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	NECネクサソリューションズ（株）関西支社、日本ファイリング（株）大阪支店					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	7,125	図書館システム更新業務、自動化書庫部品取替修繕			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	27,829	7,389	4,500	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	27,829	7,389	4,500	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	27,829	7,389	4,500	
決算情報	① 流充用額	△ 860	0		
	② 配当予算	26,969	7,389		
	③ 執行額	24,749	7,125		
	④ 執行率	91.8%	96.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.10 / 0.00	0.09 / 0.06	/	/
	② 概算人件費	800	888		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		25,549	8,013		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	図書館システム機器等更新事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	7,124	38	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	回	0	0	2	0		
	システム障害発生件数	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	100%	100%	－	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	台	39	74	100	100		
	システム機器の更新	当初見込		89	89	89	89	89	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地域住民がよりよい環境で図書の情報を閲覧できるようにシステム機器を更新する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	昨年度に自動化書庫管理機を更新したことで機器の不具合が解消でき、大きなシステム障害は発生していない。今後も適切な維持管理に努めるとともに、職員の対応スキルを向上する必要がある。
現状の課題に対する改善策	日ごろから、システム操作、システム障害の危険性等について見識を深める必要がある。各自学習することや研修会等に参加するなど職員のスキルアップが必要。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	図書館電子書籍貸出サービス事業						事業コード	100503630316		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり			
	施 策 名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり					施策コード	422		
事業担当	所属	600500 教育委員会図書館				所属長	足立 亜弥			
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	03図書館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	213 頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	資料収集整理事業、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、図書館システム機器等更新事業、図書館運営事業、図書館開設100周年記念事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 「ふくちやま電子図書館」は令和4年1月開始以来、人口当たりの貸出数・閲覧数が全国1位となっており多くの利用がある。小学校・中学校での児童生徒の利用が大半を占めている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 紙の図書が1冊約1,800円（平均）に比べて電子書籍コンテンツは1点約4,200円（平均）と割高で、さらに利用期間や貸出回数制限があるものが多く、維持経費が多額となる。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 図書館サービスの更なる利便性向上のため、24時間いつでもどこでも利用できる電子書籍貸出サービスを導入し、児童生徒の読書環境を整え学びを支援すること、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」に基づき、身体的に来館や読書が困難である方への図書館サービスを拡大すること、非来館型サービスの充実を図ることにより、来館型と非来館型の併用によるハイブリッド図書館による多様な選択肢の確保と利便性の向上を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 来館型と非来館型の併用によるハイブリッド図書館による利用者の多様な選択肢の確保と利便性の向上のために、電子書籍コンテンツを継続して約2,300点を購入。電子図書館サイト内に特集展示やおすすめ本の紹介、読み放題パックの導入など、趣向を凝らした電子図書館サービスを展開している。

対象者	福知山市民（在住、在学、在勤）	対象者数	85,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	（株）図書館流通センター				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	44	電子書籍用マーク作成業務委託料			
使用料及び賃借料	10,563	電子書籍コンテンツ使用料、図書館システム賃貸借			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	25,702	10,737	8,930	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		25,702	10,737	8,930	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	25,702	10,737	8,930	
決算情報	① 流充用額	860	0		
	② 配当予算	26,562	10,737		
	③ 執行額	26,562	10,607		
	④ 執行率	100.0%	98.8%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.29 / 0.48	0.20 / 0.32	/	/
	② 概算人件費	3,664	2,496		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		30,226	13,103		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	図書館電子書籍貸出サービス事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	10,237	38	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	点	184,235	152,825	124,914	153,169		
	貸出数	目標値		180,000	180,000	180,000	180,000	180,000	
		達成度	%	102%	85%	69%	85%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	点	4,517	5,562	6,239	2,309		
	コンテンツ購入点数	当初見込		5,000	6,000	5,500	2,100	2,100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市内住民の利用者ニーズを把握し、紙の図書との調整を図り電子書籍コンテンツを充実する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	点	368,012	335,551	388,831	490,387		
	閲覧数	目標値		360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	
		達成度	%	102%	93%	108%	136%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	点	4,517	5,562	6,239	2,309		
	コンテンツ購入点数	当初見込		5,000	6,000	5,500	2,100	2,100	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市内住民の利用者ニーズを鑑みながら、紙の本との調整を行い、電子書籍コンテンツの充実を図る。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	人口当たりの利用（貸出・閲覧）が全国一位をキープしている。コンテンツが減少することにより利用数が低下しない工夫が必要である。
現状の課題に対する改善策	新規購入、再購入、読み放題パックの購入などバランスを見ながら、電子書籍コンテンツの充実を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	図書館運営事業						事業コード	100503630349		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり			
	施 策 名	2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり					施策コード	422		
事業担当	所属	600500 教育委員会図書館				所属長	足立 亜弥			
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	03図書館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	213・214 頁
計画期間	開始年度	昭和21年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	資料収集整理事業、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、図書館システム機器等更新事業、図書館電子書籍貸出サービス事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 大正13年に、福知山町立福知山図書館として公立図書館を開設して以降、昭和53年に日新地域公民館に分館として日新図書館を開設し、平成18年には一市三町合併により、福知山市立図書館を中央館、旧三町の図書館をそれぞれ三和・夜久野・大江分館とし、中央館と4分館の編成となった。その後、日新分館を日新地域公民館に所管替えし、中央館と3分館となり、平成26年6月には、市民交流プラザふくちやまに移転し現在に至っている。本事業は、市立図書館の管理・運営に要する経費の執行に関する事業である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 基本的に固定費を支払うための事業であり、上昇する物価、建築後10年が経過し修繕箇所が多くなってきた中央館施設の維持、中央館及び3分館を適切に管理・運営するため、費用対効果や優先順位を考慮した事務執行を行う必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、利用者に提供し、その教育、調査、研究、レクリエーション等に資することを目的として設置している公立図書館として、それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・図書館機能を充実し、課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。 ・関係機関・関係団体と連携し、北近畿の中核となる図書館サービスの充実に努める。 ・図書館施設の適切な管理運営に努める。 ・令和3年2月に策定した「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」を見直し、令和8年度からの子どもの読書活動を推進するための基本方針となる「第4次福知山市子どもの読書活動推進計画」を策定した。

対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者	対象者数	642,398	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	(社)福知山市シルバー人材センター、NECネクサソリューションズ(株)関西支社、日本ファイリング(株)大阪支店、小川建築設計					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
報酬	200	図書館協議会委員報酬	使用料及び賃借料	4,198	複写機使用料、図書館情報システム(クラウド型)賃貸借料
報償費	75	第4次福知山市子どもの読書推進計画策定委員会	備品購入費	128	消火器、掃除機
旅費	7	研修旅費	負担金補助及び交付金	33	負担金
需用費	3,828	消耗品費、修繕料、燃料費、印刷製本費、光熱水費	公課費	50	自動車重量税
役務費	979	通信運搬費、手数料、保険料			
委託料	5,513	中央館自動化書庫保守業務、図書館情報システム及び機器保守業務、移動図書館巡回及び配本業務委託			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	15,591	15,239	20,230	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①～③)	15,591	15,239	20,230	
予算財源内訳	① 一般財源	15,470	14,995	19,115	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	121	244	1,115	
決算情報	① 流充用額	△ 83	△ 132		
	② 配当予算	15,508	15,107		
	③ 執行額	14,973	15,011		
	④ 執行率	96.6%	99.4%		
人工概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	4.29 / 24.28	4.81 / 23.54	/	/
	② 概算人件費	102,304	104,392		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		117,277	119,403		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	コピー代(図書館)	雑入	57	43	
	利用券再交付料	雑入	72	44	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	冊	499,451	486,186	459,669	427,523		
	年間資料貸出冊数	目標値		600,000	520,000	520,000	520,000	520,000	
		達成度	%	83%	93%	88%	82%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	156,356	257,884	263,858	266,224		
	年間来館者数	当初見込		330,000	220,000	280,000	280,000	280,000	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	福知山市民（在住、在学、在勤）及び三たん地域在住者を対象に、図書館施設の利用の促進を図る。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	9,855	9,966	9,743	9,010		
	実利用人数(貸出人数)	目標値		12,200	12,200	12,200	12,200	12,200	
		達成度	%	81%	82%	80%	74%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	156,356	257,884	263,858	266,224		
	年間来館者数	当初見込		330,000	220,000	280,000	280,000	280,000	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	福知山市民（在住、在学、在勤）及び三たん地域在住者を対象に、図書館施設の利用の促進を図る。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	図書館は情報収集や知識習得の場として欠かせないものであり、引き続き特色ある図書館づくりを進めるとともに、利用者ニーズを把握し施策に反映させることで、利用者にとってより良い場となるよう努めている。 また、福知山公立大学メディアセンターや京都府及び府内市町との資料の相互貸借や情報交換会の実施、丹波市・朝来市と共催事業や研修会を実施するなど、外部機関との連携を図り一層の利用者サービスの充実を図っている。 新たな利用者を確保するため、様々な取組の実施と情報発信により図書館の認知を広めており、今後においても、北近畿の中核となる図書館として、資料の更なる充実や利用者に寄り添ったサービスの提供、情報発信に努めていくことが必要である。 新たに策定した「第4次福知山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を推進していくことが必要である。
現状の課題に対する改善策	住民の知る権利を保障することは、公立図書館の重要な責務である。この責務を果たし、より質の高い図書館サービスを提供し、魅力ある取組の実施と情報発信を今後も継続的に実施する。 電子図書館などのサービスの提供により、図書館利用にかかる選択肢も増やせており、今後においても利用者にとってより良い図書館となるようニーズを把握しサービスの提供に努めていくことが必要である。